



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒16・6～10
マケドニアからの叫び
マケドニアに渡ってきて、わた
したちを助けて下さい。
使徒16・9

目標

救いを求めている人々を覚え、
宣教への招きに応答する。

7月3日(日)

聖書
聖句

使徒16・9
マケドニアに渡ってきて、わたした
ちを助けて下さい。 9節

イエス様を信じてからのパウロ(サウロ)は、
多くの人にイエス様を伝える人になりました。
周囲の人々はびっくり。「あの人はイエス様を
信じたんだ!」とクリスチャンは大喜び。クリ
スチャンを迫害するユダヤ人たちは「あの裏切
り者!」とパウロの命をねらい始めたのでした。
そんな中、パウロはマケドニア人の幻を見
ます。この幻には、神様の大切なメッセージ
が込められていました。神様はいろいろな方法
でメッセージを伝えられますから、いつも神様
にアンテナを向けることが大切です。

祈り 天のお父様、いつでもあなたのメッセージ
を聞けるよう、あなたにアンテナを向けて
いきます。

7月4日(月)

聖書
聖句

使徒16・6～7
アジアで御言を語ることを聖霊に禁
じられた。 6節

アジアでイエス様を伝えようと、パウロたち
は旅をつづけようとしていました。ところが、聖霊様
が「アジアでは語らないように」と禁じられた
のです。しかも、二度も! みことばを語ること
は大切なことなのに、ダメなんて、どうして?

いっしょうけんめい祈っても、うまくいかな
いことってあります。「神様は聞いてくれない」
と思うけど、ちがうんです。神様はもっと良い道
を考えてくれているからなんです。「ダメだよ、
ちがうよ」も、りっぱな神様のこたえ。あなた
のお祈りは、聞かれています。

祈り

天のお父様、あなたが「ダメ」と言われる
時も、お祈りを聞いてくださっていること
を信じます。

7月5日(火)

聖書
聖句

使徒16・6～8
それで、ムシヤを通過して、トロア
スに下って行った。 8節

アジアに行くことを聖霊様に止められ、その
命令に従って行きついたのは、トロアスという
港町。パウロたちがまったく予定にいない
所でした。目の前の海を見ながら、「なんで
こんな所にきたのかな…」と考えたでしょう。
でも、聖霊様に導かれてたどりついたのは確か
なこと。

わからないときって、頭がモヤモヤしてスッ
キリしません。そういう時は、神様にお任せし
ます!と祈るのです。それが大切。モヤモヤ、
スッキリしない時間だって、あなたが神様にお
任せするための、大切な時間ですよ。

祈り

天のお父様、どんなときでも、あなたに
お任せすることができますように。

7月6日（水）

聖書
聖句

使徒16・9

マケドニアに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

トロアスでの夜、パウロは幻を見ました。海のむこうに住む、ひとりのマケドニア人が「わたしたちを助けてください」とパウロにお願いするのです。「マケドニアに行けてこと?!」そこはパウロが行こうとはまったく考えていない場所。ぜったいアジアに行くんだ!と考えていたから。

わたしたちは、ぜったいこれがいい!と思ひこむことがあります。でも神様はね、わたしたちの、ガチガチにカタ〜い「思いこみ」をこわして、もっとすばらしい道を教えてくださるんです。神様に従うと頭がやわらかくなる!

いのちの祈り 天のお父様、わたしの「思いこみ」をこわして、もっと良い道を教えてください。

7月7日（木）

聖書
聖句

使徒16:10

神がわたしたちをお招きになったのだと確信して、 10節

「神様はわたしたちを、マケドニアに招いている。そこにイエス様の救いを必要とする人々がいるんだ!」。パウロはすぐに確信しました。アジアに行きたいのに、二度も止められてトロアスに来てしまったこと。すべてはマケドニアに行くための、神様の導きでした。頭のモヤモヤもスッキリです!

あなたの人生で起こることぜんぶ、意味のないことはひとつもありません。神様はあなたを愛してくださっているからです。「このためだったんだなあ」と、神様がスッキリさせてくださる時が、きつときます。

いのちの祈り 天のお父様、あなたがわたしを愛してくださるので、起こることすべて、意味があると信じます。

7月8日（金）

聖書
聖句

使徒16・10

わたしたしは、ただちにマケドニアに渡って行くことにした。 10節

あなたは、神様のみこころがわかった時、どうする? 「はい、神様すぐ従います!」って言いますか? 「ちょっとまって〜」とモタモタすることもあるかもしれませんね。

パウロたちのすごいところは、「よし、マケドニアにすぐに行くぞ!」とすぐに従うところ。パウロにとっていちばんの道は、神様が知っておられます。パウロもそれがよくわかっていたので、モタモタする時間がもったいない。パワフルなパウロらしい。でも、わたしたちもすぐ従う、すぐ行動、そうなりたいですね。

いのちの祈り 天のお父様、パウロのように、あなたにすぐに従って行動できる人になりたいです。

7月9日（土）

聖書
聖句

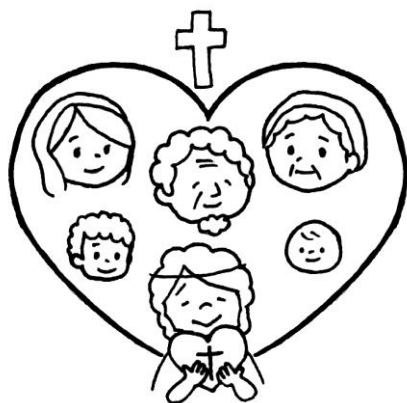
使徒16・6~10

マケドニアに渡ってきて、わたしたちを助けて下さい。 9節

トロアスから、船でマケドニアに渡ったパウロたち。その後、大変なことはたくさんあったけど、マケドニアにイエス様を信じる人がたくさん起こされました。神様に従ったので、すばらしいことが起こったのですね。

あなたのまわりには、実は「助けてください」とさけんでいる人がいるのです。学校や近所のお友だち、家族。神様が、パウロのようにあなたを招いています。まずは、お祈りすることから。そして、まずは一人に伝えてみる。神様は、あなたをきっと! 用いてくださいます。

いのちの祈り 天のお父様、救いを待っている人のために、わたしを用いてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

使徒16・25～34
獄吏と家族の救い
主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。 使徒16・31

目標

主イエスを信じて、救いを頂く者となる。

7月10日（日）

聖書
聖句

使徒16・31
主イエスを信じなさい。そうしたら、あなたもあなたの家族も救われます。 31節

「あの子のあんなところがきれい」「家族のあれやこれが直ればいいのに」と、まわりの人の悪いところばかり見ていませんか？

そんなときは、ウソをついたり、人を傷つけたり、わがままな自分でも、まるごと愛してくれて、罪の身代わりに十字架について死んでくださったイエス様を思い出して！

あなたがイエス様とともに歩いてくなら、まずあなたの心や生き方が変わり、周りの人たちに伝わるよ！ イエス様を信じよう！ そうしたらあなたも、あなたの家族も救われるね！

いのちの祈り

天のお父様、まずはわたしから変わることができるよう。いつもイエス様とともに歩ませてください。

7月11日（月）

聖書
聖句

使徒16・25
真夜中ごろ、パウロとシラスとは、神に祈り、さんびを歌い続けた。25節

イエス様のためにはたらいたことでムチでうたれ、ろうやに入れられてしまったパウロたち。痛いしつらいし、元気もでないはずだね。でも、そんな中で神様を賛美し続けたって！

もうだめ！と思うとき、自分の力じゃどうにもできないとき、あなたは どうしますか？ 心が下を向いちゃって、もうイエス様を信じるのをあきらめる？ はなれちゃう？

でもね、パウロたちの信仰は、あきらめず、行きづまらなかったよ！ そういう人を神様は助け出してくださるんだね。イエス様とガッチリ！ つながっていたいね！

いのちの祈り

天のお父様、しっかりイエス様とつながって、あきらめたり行きづまったりせず信じとおせますように。

7月12日（火）

聖書
聖句

使徒16・25
囚人たちは耳をすまして聞きいていた。 25節

夜のくらい中で、パウロたちが賛美すると、あらフシギ！ 悪いことをして捕まった人たちもじ〜っとその賛美を聞いていたんだって。しかも、だれも「うるせ〜バカヤロウ」なんて言わないで、心から聞いていたみたい！

賛美ができるってすばらしいね！ 縄でしばられ、くさりにつながれて身動きがとれなくても、だれもイエス様を信じる心や口をしぼることはできないんだ。そして、どんなときもイエス様を見あげて賛美するなら、罪の中で苦しんでいる人たちにも、イエス様のすばらしさが伝わっていくんだね。

いのちの祈り

天のお父様、どんなときも心から賛美でき、あなたのすばらしさを伝えられますように。

7月13日（水）

聖書
聖句

使徒16・26

ところが突然、大地震が起って、獄の土台が揺れ動き、戸は全部たちまち開いて、みんなの者の鎖が解けてしまった。 26節

もし、あなたがろうやの中で鎖につながれていたのに、突然こんなことが起きたら！？神様の力スゲ～！！と思うだけでなく、今まで神様を信じないで生きてきたこと、自分が罪人であることが、おそろしくなってくるよね…。

でも、神様がパウロたちのお祈りと賛美にこたえて「突然」鎖を解いてくださったように、神様は、イエス様の十字架を信じるなら、あなたがしばられて苦しんでいる罪の鎖でも、あつというまに解いてくださるお方です。

いの祈り てんのお父様、イエス様を信じるなら、どんな罪の鎖からも一瞬で助けてくださることを信じます。

7月14日（木）

聖書
聖句

使徒16・27～28

われわれは皆ひとり残らず、ここにいます。 28節

ろうやにいた人たちの鎖が解け、戸があいたとき、みんないつせいに「にげろ～」って出ていったのではありませんでした。もしにげたら、こんどはろうやの番をしていた人が死刑にされるか、自殺するところです。でも、パウロたちだけでなく、罪をおかしてろうやに入れられた人もみんなそこに残っていたんだって！

パウロたちのお祈りや賛美で、神様がどんなお方か、聞いていただけて、ろうやが開いたとき、お祈りにこたえてくださることもわかったんだね。パウロたちは入りたくてろうやに入ったんじゃないけど、そこにいた人たちのためにも神様は用いてくださったね。

いの祈り てんのお父様、あなたがつかわしてくださった場所でわたしも用いてください。

7月15日（金）

聖書
聖句

使徒16・29～30

わたしは救われるために、何をすべきでしょうか。 30節

あなたは、心から「わたしは救われなければならない！」と思ったことはありますか？

いつも、まちがっている、罪がある人は「自分じゃないだれか」だと、心のどこかで「わたしは正しいはず」だと、思っていますか？

この獄吏もきっと同じだったよね。自分は、「罪人をろうやに入れる正しい人間」だと思っていたよね？ でも、本当は「罪人は自分、まちがっているのは自分」だったことを、神様が気づかせてくれたんだ！すごい！

神様は、そんな人たちのためにも救いを用意してくださるんだね！

いの祈り てんのお父様、自分は正しいと思っている人でも、救いのチャンスをを用意して下さり感謝します。

7月16日（土）

聖書
聖句

使徒16・31～34

神を信じる者となったことを、全家族と共に心から喜んだ。 34節

本当の救い、本当の喜びはどこから来るのかな？ いろいろがんばって手に入れるもの？ いい子にしていたらやってくるもの？

いいえ、救いは真の神様を信じ、イエス様を信じるときにやってくるのです。あなたの心のおくの罪は、どんながんばりでも、どんな良いことでも消えないし、そこに救いはないよ。

イエス様は、あなたの罪の身代わりに十字架で死んでくださった、たった一人のお方。

このイエス様を信じるとき、本当の救い、本物の喜びをもらえるんだね。イエス様を信じて心から喜べるあなたでいてね！

いの祈り てんのお父様、ただ信じるだけで本当の喜びがいただけることを感謝します。わたしもイエス様を信じます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王上 17・1～16
生きて働かれる神
わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。
列王上 17・1

目標

生きて働かれる神を信じて、神に仕える者となる。

7月17日(日)

聖書
聖句

列王上 17・1～7
わたしの仕えているイスラエルの神、主は生きておられます。 1節

天気予報って、たいがい当たるけどたまにはずれたりします。ここに、預言者エリヤがいきなり登場して、「わたしが仕える神は生きておられて、わたしの言葉のない間は、数年雨も露もありませんよ」とアハブ王に言います。数年？何と三年六ヵ月、一滴のおしめりもなかったのです。予報のとおりに！エリヤは神様に養われました。ケリテ川のほとりで、川の水を飲み、驚いたことからすが朝に夕にパンと肉を運んでくれたのです。神様の命令によって。

祈り 天のお父様、エリヤをからすによって養われたあなたは、今も生きて働いていてくださいますから感謝します。

7月18日(月)

聖書
聖句

列王上 16・29～34
オムリの子アハブは彼よりも先にいたすべてのものにまさって、主の目のまえに悪を行った。 30節

アハブ王というのは、イスラエル最悪の王様でした。偶像を拝むイゼベルという奥さんと結婚して、自分もバアルという偶像を拝むようになってしまいました(だれと結婚するかは、とても大事なことです)。バアルというのは、雨や霧を注いで農業を盛んにする男性の神です。エリヤはこの神に挑戦したのです。アシラ像は、女神の偶像です。こうして国中に偶像の宮や祭壇を作って、まことの神様を怒らせました。神様はエリヤを遣わすことにしたのです。

祈り 天のお父様、あなたが最もお嫌いになるのは偶像です。わたしもあなたより大事にしている偶像はないかチェックします。

7月19日(火)

聖書
聖句

列王上 17・8～16
主がエリヤによって言われた言葉のように、かめの粉は尽きず、びんの油は絶えなかった。 16節

ちょっと雨が降らないだけでも、水不足で給水制限とかあって困ります。一年も二年も降らないと一体どんなことになるでしょう?! ケリテ川の水もかれてしまいました。エリヤは主の言葉によって、偶像の町シドンのザレパテの、しかもやもめ女の所に遣わされます。よりによって子どもと最後のパンを食べて死のうとしていたのです！ところが生きておられる主の命令どおりにすると、「かめの粉は尽きず、びんの油は絶えなかった」のでした。ワンダフル！

祈り 天のお父様、エリヤや、やもめ女と息子に養い続けられたあなたは、今も生きて、この約束を守ってくださり感謝です。

7月20日（水）

聖書
聖句

列王上17・17~24

主はエリヤの声を聞きいれたので、その子供の魂はもとに帰って、彼は生きかえった。 22節

あなたも病気になったことがあるでしょう。死ぬかもしれないと思うような重い病気だったでしょうか。このやめ女の息子は、本当に重い病気です。とうとう死んでしまったのです。母親の手から子どもを取り、エリヤは屋上の部屋の自分のベッドに寝かせて、神様に叫び求めました、「子どもの魂をもとに帰らせてください！」主はエリヤの叫びを聞きいれてくださり、子どもは生きかえりました！何と力あるエリヤの祈りでしょう！祈りに答えてくださる主は生きておられます！

いの
祈り

天のお父様、エリヤは人間であるのに、その祈りに答えて、死人さえもよみがえらせてあなたの御力をたたえます。

7月21日（木）

聖書
聖句

列王上18・17~29

そして火をもって答える神を神としましょう。 24節

三年以上もの間、かんばつで国中カラカラ。アハブに会って、エリヤはカルメル山での対決をと、バアル、アシラの預言者を集めさせます。八百五十人对エリヤ一人です。たきぎの上に一頭の牛を切り裂いてのせ、「それぞれの神の名をよびましょう。火をつけていないその牛に、天からの火を降す神を神としましょう」と言いました。まず、バアルの預言者たちからです。「バアルよ、答えてください」と。しかし応答なし。踊ったり血を流したりしても答えなし。バアルは眠っているのか？

いの
祈り

天のお父様、バアルからは何の答えもありませんでした。人がつくりあげた死んだ偶像だとわかりました。

7月22日（金）

聖書
聖句

列王上18・30~40

民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。 39節

びっしょりぬれた紙にどんなにマッチで火をつけようとしてもジュンと火が消えてしまうでしょう？ ところがです。さあ、エリヤの番になりました。ヤコブの子らの部族の数、十二個の石で祭壇を築き、その周囲にみぞを作り、たきぎと牛を切り裂いてのせ、かめ十二杯分の水をザアザアかけました。夕の供え物の時間になって、エリヤの祈り、「主よ、あなたが神であると知らせてください」。その時です、主の火が降り、すべてを焼き尽くし、民がひれ伏し叫びました。

いの
祈り

天のお父様、まことに、「火をもって答えられたあなたこそが神です」と、わたしも心から一緒に叫べて感謝です。

7月23日（土）

聖書
聖句

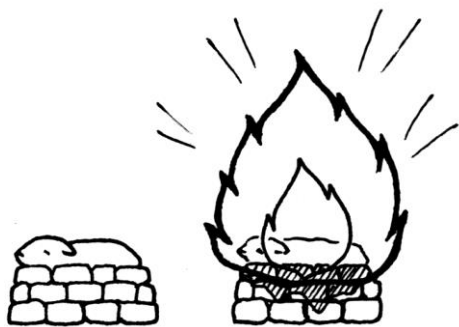
列王上18・41~46

七度目にしもべは言った、「海から人の手ほどの小さな雲が起っています」。 44節

「大雨の音がするから、の上って行って、食い飲みしなさい」とエリヤに言われて、さすがにアハブは言われたとおりにしました。しかしエリヤはカルメル山頂に登り、祈りに入りました。地に伏して顔をひざの間に入れるとは、祈りの姿勢です。忍耐強い祈り、見るまであきらめない祈りでした。しもべは海に見える所に上って見ます、何回も行ったり来たり…ついに七度目に「人の手ほどの小さな雲」が見えたと思うと、まもなく大雨となりました！

いの
祈り

天のお父様、わたしと同じ人間のエリヤの祈りに答えられたあなたが、今もわたしの祈りに答えてくださると信じます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王上18・20~40
神のための戦い
火をもって答える神を神としま
しょう。 列王上18・24

目標

神のために信仰をもって戦う
者となる。

7月24日(日)

聖書
聖句

列王上18・20~40
火をもって答える神を神としまし
う。 24節

850人、対、ひとり！ ヒヤア！ それはひとり
が負けるに決まってるよと思いますか？ バア
ルやアシラというニセの神様を拝む850人、対、
生きているまことの神を信じて仕えるひとり、
エリヤとなると？ 話はガラリと変わります。
祈りに答えて、天からの火を祭壇に呼び下す神
こそ、まことの神としましうと、いざ、対決！
バアルの神はウンともスンとも答えてくれませ
ん。しかし、エリヤの祈りに神様は答えて、天か
らの火が降ったのでした。

祈り 天のお父様、エリヤの祈りに答えられた
あなたこそまことの神です。わたしもあ
なたをまことの神と信じています。

7月25日(月)

聖書
聖句

列王上18・20~24
あなたがたはいつまで二つのものの
間に迷っているのですか。主が神な
らばそれに従いなさい。 21節

バアルの預言者は450人もいます。主の預言者
はエリヤひとりです。やっぱり、たくさんの方が
信じているバアルの方が神様なんじゃない？
なんて考えてしまいますか？ では、それぞれの
神の名を呼んで、火をもって答える神を神とし
ましようということになりました。もしかして、
わたしたちも二つのものの間に迷ったりしてい
ませんか？ 日曜日の朝、みんなは海や山へ遊び
に行っている。どうしよう？ イエス様を信じる
わたしたちは、迷わず教会学校へ！

祈り

天のお父様、あなたを一心に信じて求める
のを邪魔するものの間で迷うことがない
ように、お守ください。

7月26日(火)

聖書
聖句

列王上18・25~29
しかしなんの声もなく、答える者も
なく、また顧みる者もなかった。 29節

ではまずは、バアルの預言者たちからスター
ト！ 牛を祭壇の上に置いて、火をつけないで、
神の名を呼びました。「バアルよ、答えてくださ
い」と、朝から昼まで呼んでも何の答えもなし
です。まわりを踊ってもダメ。エリヤはあざけ
ります、「え!? 考えにふけてる？ 旅行中？
爆睡中？」バアルの預言者たちは大声で叫び、
刀とやりで身を傷つけ血を流しました！ それ
でもノー・アンサー。なぜって、バアルはニセ
の神で、死んだ偶像ですから当たり前です。

祈り

天のお父様、ニセモノの神バアルがいか
に死んだ頼りにならないものであるのか
が、よくわかりました。

7月27日(水)

聖書
聖句

列王上 18・30～35
彼はこわれている主の祭壇を繕った。 30節

バアルの預言者たちは、さんざんな目に合いましたね。ニセの神に従うとこうなるのです。さあ! エリヤの番です。エリヤは一番に、こわれている主の祭壇をきちんと整えました。ヤコブの子らの部族の数、12の石で、主の名によって祭壇を築きました。周囲にみぞを作り、たきぎと牛をのせ、何とその上に4つのかめに水を満たしたものを注ぎました。ザーッと、ザーッと3度もしたので祭壇は水浸し、みぞまで、水がいっぱいになりましたよ!!

いのちの祈り 天のお父様、エリヤのように、わたしもお祈りの祭壇をきちんと整えて、あなたに祈り、答えを待ち望みます。

7月28日(木)

聖書
聖句

列王上 18・36～37
主よ、わたしに答えてください。わたしに答えてください。 37節

先祖アブラハム、イサク、ヤコブを祝福されたイスラエルの神に、エリヤは、まっすぐに、迫ってお祈りします。「あなたこそが神であることを、この人々すべてに知らせてください。わたしがあなたのしもべで、あなたの言葉に従ってやっているのだということをハッキリと教えてください。主よ、わたしにも答えてください」と。わたしたちも、こんなエリヤのようなお祈りがしたいですね。きっと神様だって、黙ってはいられないと思いませんか?!

いのちの祈り 天のお父様、エリヤのお祈りには力がこもっています。わたしもエリヤのようにあなたに迫って祈りたいです。

7月29日(金)

聖書
聖句

列王上 18・38～40
民は皆見て、ひれ伏して言った、「主が神である。主が神である」。 39節

『そのとき』です! な、な、なーんと、主の火が下ったのです! そして、燔祭を焼きつくし、たきぎももちろん焼きつくし、しかも、石もちりも焼きつくし、さらにはみぞの水をもなめつくしたではありませんか。人々は皆それを見て、ひれ伏して叫びましたよ。「主が神である。主が神である」と。イスラエルの神、アブラハム、イサク、ヤコブの神、エリヤの神の勝利! 火をもって天から答えられたのはこの神でした。バアルの神はニセモノです。

いのちの祈り 天のお父様、誰の目にも、この時ばかりはあなたこそまことの神とわかりました。今も永遠までもそうです。

7月30日(土)

聖書
聖句

ヤコブ 5・13～18
義人の祈は、大いに力があり、効果のあるものである。 16節

「エリヤは、わたしたちと同じ人間であったが」(17)とあります。そうなのです。エリヤは人間でしたが、信仰と祈りの人だったのですね。神様のみ言葉を信じて、お祈りして、雨をとどめたり、降らせたりしたのでした。そして、カルメル山でもお祈りで勝負し、みごとに勝利しました。神様を信じるわたしたちに与えられているすごい武器が、「み言葉とお祈り」ですよ。さあ、わたしたちもみ言葉をしっかりと握り、信仰のお祈りで勝利しよう!

いのちの祈り 天のお父様、あなたに対抗したり敵対する力の多い中、み言葉とお祈りであなたのために戦わせてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王上19・1～18
失意からの回復
出て、山の上で主の前に、立ち
なさい。 列王上19・11

目標

失意の中にある者を回復させて
くださる神を覚え、神の前に出る。

7月31日(日)

聖書
聖句

列王上19・1～4
そこでエリヤは恐れて、自分の命を
救うために立って逃げ、 3節

先週は、エリヤがバアルの預言者たちと対決、大勝利しましたね。でも、それは命がけの戦いでした。勝利をしても戦いは終わっていません。今度は、バアルを信じる王妃イゼベルがエリヤの命をねらっているということです！ エリヤはこわくなり、必死でにげて行きました。

今週は、心もからだもへトヘト、落ちこんでいるエリヤを見ていきます。だれだって、落ちこむことはありますよね、エリヤですらそうなんです。そんな時、立ちあがらせてくださるのは、やっぱり神様なんです。

祈り

天のお父様、心もからだも落ちこむとき、あなたが立ちあがらせてくださることを感謝します。

8月1日(月)

聖書
聖句

列王上19・1～4
わたしは先祖にまさる者ではありません。 4節

イゼベルからにげて、疲れはてたエリヤ。自分の命を守るために必死でにげたのに、神様にむかって「わたしの命を取ってください」なんて言ってます。頭がパニックをおこしています。

「わたしは先祖にまさる者ではありません」と、自分は先祖みたいになりっぱじゃない…って、くらべちゃってます。エリヤ、あなたじゃなくて、神様がすごいんですよ！と言いたくなりますが、それほどエリヤは苦しかったのです。

神様は、ただしずかに、エリヤの苦しみを聞いてくださったのでした。神様って、温かい。

祈り

天のお父様、苦しみをしずかに聞いてくださる、あなたの温かさを心から感謝します。

8月2日(火)

聖書
聖句

列王上19・5～6
起きてみると、頭のそばに、焼け石
の上で焼いたパン一個と、一びんの水
があった。 6節

エリヤは疲れて木の下で眠ってしまいました。そこに、神様はみ使いを送られたのです。み使いは寝ているエリヤを起こして、「起きて食べなさい」と言いました。エリヤを見ると、焼いたパンと水が目の前に！ エリヤはもぐもぐ、ごくごく。そしてまた、ぐうぐう寝たのです。

今のエリヤに必要なのは、ちゃんと食べて寝て休むこと。すべてわかっておられた神様は、何も言わず、そっとパンと水をおいてくださいました。神様って、本当にやさしいでしょう。

祈り

天のお父様、わたしの必要すべてをしつて、やさしく与えてくださることを心から感謝します。

8月3日（水）

聖書
聖句

列王上16・9

起きて食べなさい。道が遠くて耐えられないでしょうから。 7節

ふたたび、み使いはエリヤを起こします。「起きて食べなさい」。まだ長い旅がつづくから、しっかり食べて！というのです。彼はまた、パンと水をもぐもぐ、ごくごく。元気になって歩きつづけ、ホレブ山についたのです。

エリヤは苦しすぎて「命を取ってください…」と願ったのに、神様がくださったのは、元気が出るプレゼント。エリヤの身体はすっかり回復して、どん底から脱出することができたのです。神様は、あなたが元気であるように、いつも心を配ってくださっているんです。たとえ、あなたがそれに気づいていない時も。

いの
祈り

天のお父様、わたしが元気でいられるように、いつも考えてくださって心から感謝します。

8月4日（木）

聖書
聖句

列王上19：9～10

主の言葉が彼に臨んで、彼に言われた、「エリヤよ、あなたはここで何をしているのか」。 9節

身体は回復したエリヤですが、心はまだ回復していませんでした。そんな彼に、神様は「あなたはここで何をしているのか」と聞いてくださいました。エリヤは、自分が神様のためにがんばったこと、でもイスラエルは神様をすてて預言者たちを殺してしまったこと、自分はひとりぼっちで殺されそうなこと…、心にあるつらかった思いを、神様にお話しました。

神様にしっかり聞いてもらうこと。エリヤの心の元気が回復するために、それはどうしても必要なことだったのです。

いの
祈り

天のお父様、心の元気がないときは、いつでもあなたにお話したいと思います。

8月5日（金）

聖書
聖句

列王上19・11～14

出て、山の上で主の前に立ちなさい。 11節

今度は、神様が言われました。「出て、山の上で主の前に、立ちなさい」。ビュウウ〜と強い風がふき、ドーンと地震がおき、ゴオツと火もあり、エリヤはびっくり。そこに神様がおられるのかな!? と神様の御声を聞きたくて、耳をかたむけました。すると、そのあと、細くやさしい神様の御声が聞こえてきたのです。

神様は、エリヤに御声を聞かせるために、呼ばれました。エリヤもいっしょうけんめい聞こうとしました。心が元気になるために、どうしてもみことばを聞く必要があるのです。

いの
祈り

天のお父様、わたしが元気でいられるためには、みことばが必要だとわかりました。いつも耳をかたむけたいです。

8月6日（土）

聖書
聖句

列王上19・15～18

わたしはイスラエルのうちに七千人を残すであろう。 18節

神様はエリヤに、帰って行って、ハザエル、エヒウ、エリシャに油を注ぎなさい、と言われました。エリヤの使命は、まだ終わっていないよ！ということです。さらに神様は、「イスラエルのうちに七千人を残す」と言われました。ひとりぼっちだと思っていたのに、まだ七千人も仲間がいたのです！神様の励ましのみことばで、エリヤは心も身体も回復しました。

元気がない時、つらい時、まず神様にお祈りしながらお話して。そして、みことばをしっかり聞いて。神様だけが、あなたが立ちあがるために働いてくださいます！

いの
祈り

天のお父様、あなただけが、わたしを立ちあがらせてくださいます。あなただけに、たよっていきます！



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王下5・1～14

大勇士の癒し

身を洗って清くなれ。

列王下5・13

目標

隠れた内面的な悩みのために神の解決を頂く。

8月7日(日)

聖書
聖句

列王下5・1～14

身を洗って清くなれ。

13節

誰にも言えない心の中での悩み。お父さんにも、お母さんにも兄弟たちにも、学校の先生にもどの友だちにも言えない…。神様だけは、ちゃんとご存知、そして、神様だけが、その悩みをきっちり解決してくださるのです。ナアマン大將のようにね。表面は立派だったナアマンの悩みは、恐ろしい重い皮膚病にかかっていたこと！不思議な導きで、神の人エリシャのことを知り、え!? と思うような方法で、すっかり癒され、清くされましたね。

いのちの祈り

天のお父様、すべてを知っていてくださるあなたのおっしゃるとおりになれば悩みが解決されると信じます。

8月8日(月)

聖書
聖句

列王下5・1

彼は、大勇士であったが、重い皮膚病をわずらっていた。 1節

カッコいいネ! 「大勇士ナアマン!」 王の軍勢の長だし、主君からは、「ナアマン、ナアマン」って、大切にされたし、素晴らしいことに、神様に助けられ、用いられて、スリヤの国に勝利を勝ち取った、まさに「大勇士」だって、晴れやかな勝利の行進をして、人々からほめられたでしょう。ところが、人には言えない隠れた悩みをかかえて悩みに悩んでいたのです! それは服の下に重い皮膚病がありました。

いのちの祈り

天のお父様、外側が立派に見えても、内側にある悩みはこまります。あなたは知っていてくださるので感謝です。

8月9日(火)

聖書
聖句

列王下5・2～5a

ああ、御主人がサマリヤにいる預言者と共におられたらよかったでしょうに。 3節

すべてを知っていてくださる神様は、ナアマンの悩みもよくわかっておられました。神様はナアマンの悩みを解決してあげたいと、働きかけてくださいました。そこにイスラエルから捕えられてきたひとりの少女が用いられたのです。彼女はナアマンの奥さんにお仕えしたのでナアマンの悩みを知りました。そして、預言者エリシャのことを話し、ご主人様がこの方と共にいられたらよかったのに、きっと病をいやしてくださいますと言ったのです。

いのちの祈り

天のお父様、あなたはナアマンのために少女を用いられました。幼くてもあなたに用いられるのは喜びです。

8月10日（水）

聖書
聖句

列王下5b～7

わたしは殺したり、生かしたりすることのできる神であろうか。 7節

わらにもすがりたいような悩む心のナアマンでしたから、さっそくに主君スリヤ王に伝えました。王はイスラエル王への手紙を持たせてくれました。たくさんの贈り物と共に、その手紙をイスラエルの王に見せると…「ナアマンの病をいやしていただくためです」と読んでイスラエルの王は衣を裂いて言いました、「この病の人をいやせと?」とんでもない、わたしはそれができる神ではないと。そうです、一国の王だって皮膚病をいやせないのですね。

いの
祈り

天のお父様、イスラエルの王のショックが伝わってきます。本当のいやし主は、あなたの他にはありません。

8月11日（木）

聖書
聖句

列王下5・8～10

あなたはヨルダンへ行って七たび身を洗いなさい。 10節

悩むナアマン、悩むイスラエルの王、悩む人ばかりですね。そこに、そのことを聞きつけた、神の人エリシャの登場です。「彼をわたしのものにこさせなさい」と王に人をつかわして言いました。ナアマンは馬と車とを従えてきて、エリシャの家の入口に立ちました。すると使いの者がエリシャの言葉を伝えたのです。「ヨルダンで七たび身を洗えば肉はもとにかえり清くなります」。何てわかりやすく、しやすいことでしょう! 神様らしい解決です。

いの
祈り

天のお父様、あなたのご命令や、解決法は決して、困難だったり、従いにくいものではないのでホッとします。

8月12日（金）

聖書
聖句

列王下5・11～12

こうして彼は身をめぐらし、怒って去った。 12節

トコロガ、ドッコイ! ナアマン大將は腹を立てて、怒りながら去っていったのです。ドーシテ? ナアマンはこう考えていました。「エリシャが出てきて、主の名を呼び、手を置いて動かしていやすのだらう」と。「のだらうと思った」というのが問題ですよ。しかも、自分の国のアバナやパルパル川の方がよほどいい川水だね。ですから使者が出て来て、告げた言葉など、そっちのけで彼は怒り去りました。自分の考えは神様の解決の邪魔をします。

いの
祈り

天のお父様、いつでもあなたの言われることを素直に聞いて従うことのできるやわらかい耳と心をください。

8月13日（土）

聖書
聖句

列王下5・13～14

まして彼はあなたに「身を洗って清くなれ」と言うだけではありませんか。 13節

よい先輩、よい主人、よい奥さん、よい子ども、ここでは、よいしもべを与えられている人はしあわせですよ。しもべたちの心の方がよほど神様に近く、喜ばれる心だったのです。ナアマンを納得させました。「なおりたいのでしょうか!? むずかしいことをいわれてもやったでしょう? まして彼は『身を洗って清くなれ』と言うだけですよ」と。恥をしのんで、神の人の言うとおりに、裸になって7たび川に身を浸すと、肉は幼な子のように清くなりました!

いの
祈り

天のお父様、ナアマンの悩みはみごとに消え去り、身も心も晴れやかにあなたがしてくださいました。ハレルヤ!



聖書
テーマ
暗唱聖句

列王下6・15～23

目を開かれて

主よ、どうぞ、彼の目を開いて見
させてください。列王下6・17

目標

神の助けと守りに目を開かれ、
信頼をもって生きる。

8月14日（日）

聖書
聖句

列王下6・15

神の人の召使が朝早く起きて出て見
ると、軍勢が馬と戦車をもって町を囲
んでいた。15節

今週は、預言者エリシャの住む町を、イスラ
エルの敵、スリヤの大軍がぐるりと取りかこん
でいる場面です。スリヤがどんなによい作戦を
立てても、神様がエリシャにその作戦を教えて
くださるので、いつも作戦はバレバレ。困った
スリヤ軍は、「エリシャを捕まえろ〜!」と、お
しよせてきました!

どうみても大ピンチ。しかし、そんな中、働
いてくださるのが神様です。すばらしい神様の
みわざを見ていきましょう。

祈り 天のお父様、大ピンチの中で働いてくだ
さる、あなたのすばらしさを教えてください。

8月15日（月）

聖書
聖句

列王下6・15～16

恐れることはない。われわれと共に
いる者は彼らと共にいる者よりも多
いのだから。16節

エリシャの召使の若者は「どうしましょ
う〜!」と大パニック。どう考えても、逃げられ
る状況ではありません。しかし、エリシャは「恐
れることはない。われわれと共にいる者は彼ら
と共にいる者より多い」と言いました。スリヤ軍
よりも、もっと多くの神様の助けがあるのだから、
だいじょうぶ!ということ。

わたしたちは調子がいい時は、だいじょうぶ、
と言えるんだけど、ピンチの時ってなかなか言
えないですね。ピンチの時こそ神様への信頼
がつよくなる、エリシャです。

祈り 天のお父様、わたしのあなたへの信頼が、
もっともっとつよくなりますように。

8月16日（火）

聖書
聖句

列王下6・16～17

主よ、どうぞ、彼の目を開いて見さ
せてください。17節

エリシャは「恐れることはない」と言います
が、若者にはスリヤの大軍しか見えません。そ
こでエリシャは若者のために、神様に祈りまし
た、「彼の目を開いて見させてください」。その
時、数えきれないほどの火の馬、火の戦車が山に
いて、スリヤ軍を囲み、エリシャのまわりにい
るのが見えたのです! スリヤ軍には見えてい
ませんが。

神様はいつも、見えないところであなたを
守ってくれている、ということなんです。目に見
えることだけ気にすると、不安になります。

祈り 天のお父様、見えることばかり気にしない
で、目で見えなくてもあなたが守ってくだ
さることを、忘れないでいたいです。

8月17日（水）

聖書
聖句

列王下6・18～19

するとエリシャはの言葉のとおり
に彼らの目をくらまされた。 18節

エリシャを捕まえようと囲んでいるスリヤ軍、
実は、自分たちが囲まれていることに気づいて
いません。「それっ、エリシャを捕まえろ！」と
やってきた時、エリシャは「この人々の目をく
らましてください」と祈りました。すると、ス
リヤ軍の人々は目が見えなくなってしまうまし
た！「どっちにいけないの～」とあわてる彼ら
を、エリシャはサマリヤにつれて行きました。

スリヤ軍がどんなに強くても、神様の
前では、なんの力もないのです。わたしたちが信
じている神様は、そのような力あるお方。すご
いんですよ、神様は。

いの 祈り 天のお父様、あなたが本当に力あるお方で
あることを感謝します。

8月18日（木）

聖書
聖句

列王下6：20

主よ、この人々の目を開いて見させ
てください。 20節

目が見えず、そろそろとエリシャにつれて行
かれるスリヤ軍。エリシャが「この人々の目を開
いて見させてください」と祈ると、彼らの目は、
また見えるようになりました。しかし、「おおっ、
見える」と思ったら、なんと自分たちは敵の町サ
マリヤにいて、目の前にはイスラエルの王が！
エリシャを捕まえるはずが、逆に捕まってし
まったスリヤ軍、もう真っ青です。

エリシャがしたことと言えば、神様に祈った
ことですね。ピンチの時、まずすべきことは、
神様を心から信頼して祈ることなんです。祈
り！ それこそが、いちばん大切なこと！

いの 祈り 天のお父様、ピンチの時は、エリシャのよ
うに、あなたを信頼してお祈りします。

8月19日（金）

聖書
聖句

列王下6・21～22

パンと水を彼らの前に供えて食い飲
みさせ、その主君のもとへ行かせな
さい。 22節

捕まって真っ青になっているスリヤ軍。イス
ラエルの王は「撃ち殺しましょうか！」とエリ
シャに言いました。するとエリシャは「殺して
はいけません。パンと水をあたえて帰してあげ
なさい」と言いました。スリヤ軍はたくさん食べ
させてもらい、無事に帰してもらいました。

エリシャは、敵を殺そうとは考えません。た
だ、神様がどんなにすごいお方か知らせてやり
たかったのです。ほら神様はすごいんだよ、す
ばらしいんだよ、と堂々と伝えたいですよ。

いの 祈り 天のお父様、あなたがどんなにすばらしい
お方か、わたしの周囲の人々にもあらわし
てください。

8月20日（土）

聖書
聖句

列王下6・15～23

主よ、どうぞ、彼の目を開いて見さ
せてください。 17節

スリヤ軍は、二度とエリシャをねらってくる
ことはありませんでした。エリシャが心から
神様を信頼していること、いつも神様が共にお
られて、絶対かなわないことがわかったから。

エリシャは神様にむかって、いつも目が開か
れていました。ピンチの時、いつだって火の馬が
見えていたというわけではなく、見えなくとも
神様は必ずともにいる！と信じて、いつも
信頼していたのです。それが、「目が開かれてい
る」ということ。あなたも目が開かれて、いつ、
どんな時も神様に信頼できますように！ピンチ
の時に強い人は、神様を信頼する人です！

いの 祈り 天のお父様、わたしの目を開いてくださ
い。どんな時も、あなたを見つづけて、
信頼していけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨナ 1・1～17

神に背いたヨナ

わたしは海と陸とお造りになった
天の神、主を恐れる者です。

ヨナ 1・9

目標

神に背いて歩むことの災いを
覚え、神に従う者となる。

8月21日（日）

聖書
聖句

ヨナ 1・9

わたしは海と陸とお造りになった
天の神、主を恐れる者です。9節

神様は、神様を信じる人をなんとかして用いたいと思われるお方です。どんなに「え～、そんなこといやだよ」とか「あ～と～でっ!」と、なかなか言うことをきこうとしない人であっても、です。

ヨナは神様の言うことをきけなくて、神様からにげてしまいました。でもそのあと、神様をまだ知らない人の前で「まことの神様を信じています」と言うしかできないごとにあつたよ。

そうするしかない、というできごとにあわせてでも、神様はヨナを用いたかったんだ。神様はあなたにも、そんなできごとを用意しておられるでしょうね。

祈り

天のお父様、なんとかわたしを用いたい
と思うあなたの思いを知りました。

8月22日（月）

聖書
聖句

ヨナ 1・1～3

しかしヨナは主の前を離れてタル
シシへのがれようと、立ってヨツパ
に下って行った。3節

神様のこと信じている人! 「はい!!」 神様の
ことだ～いすきな人! 「はいは～い!!」

じゃあ、神様のためにいちばんきれいなあ
の教会にさそえる人! 「うううっ…」

ヨナも神様を信じていたんだ。でもニネベ
という、罪だらけの町へ神様に行くように言われ
たとき「うっ…」っとなって、とうとうにげだ
しちゃったの。行きたくなかったんだね。

あなたはどうか? 「あなたを愛してい
るよ」といつも言ってくれる神様は、あなたの
きれいなあの人愛し、神様を信じて変わって
ほしいと思っているんだよ。にげないでね!

祈り

天のお父様、わたしもヨナと同じです。
にげさない強さをください。

8月23日（火）

聖書
聖句

ヨナ 1・4～5

時に、主は大風を海の上に起された
ので、船が破れるほどの激しい暴風
が海の上にあった。4節

神様はヨナがきらいになったの? いじわる
したいの? そう思った人はいらる?

いいえ。神様は、「わたしは悪くない! 正し
い!」と自分のかんがえでものごとを決めてし
まうヨナに「ちがうよ!」と気づかせたかった
のです。

あなたがまちがったことや正しくないこと
をするとき、罪をおかすとき、神様はあなたを
こらしめるかもしれません。それは、あなたが、
あなたの決めた道を生きるためではなく、神様の
用意された正しい道を生きるためです。

祈り

天のお父様、自分のしていることが本当
に正しいか、あなたが教えてください。

8月24日（水）



ヨナ1・6～10

そして彼らが、くじを引いたところ、くじはヨナに当たった。7節

神様のこらしめは、ヨナだけでなく、まわりの人たちをまきこんでしまいました。船が嵐にあつて大変な中で、まだまことの神様を知らない人たちは偶像の神にお祈りしたり、罪人を決めるくじをみんなでひいたりしたのです。

でも、神様はふしぎなお方です。このくじをヨナに当て、ヨナの神様はまことの神様であること、ヨナが神様にしたがわらないでにげたことを、まわりの人に知らせたのです。ヨナだけでなく、そこにいた人みんなが、まことの神様がだれであるかわかり、また神様にしたがうたいせつさを知ったでしょうね。

いの祈り 天のお父様、いつも、どんな中でも、あなたがどんなお方か、わたしだけでなくみんなに知らせてください。

8月25日（木）



ヨナ1・11～12

この激しい暴風があなたがたに臨んだのは、わたしのせいです。12節

ヨナといっしょに船にのっていたのは、まことの神様を知らない外国の人たちでした。あんなにニネベに行くのをいやがったヨナでしたが、この人たちが嵐で苦しんでいるのを見たとき、一つのことがわかったのです。それは、このことが自分の罪のせいだったということ。

そして、ヨナは、この外国の人たちを助けるために、自分が海になげこまれることをえらんだのでした。命がけの決心だね。

神様はこの事件の中で、ヨナの罪に気づかせてくれただけでなく、外国の人のために命をかけるということも教えてくださったんだね。

いの祈り 天のお父様、いろんなことの中で、あなたにしたがうことを教えてくださり、感謝します。

8月26日（金）



ヨナ1・13

しかし人々は船を陸にこぎもどそうとつとめたが、成功しなかった。13節

あなたは、どれくらい神様を信じていますか？ また、どれくらい神様にしがっていますか？ 人助けや良い行いなら、神様を信じている人でなくてもできます。船にのっている人たちも、まことの神様を信じていたわけではありませんが、いっしょうけんめい、ヨナを助けるようと努力してくれました。ヨナは神様からにげてみんなにめいわくをかけているのに！

神様を信じる、という気持ちにごまかしはききませんね。神様の愛や赦しをおこないであらわしてはじめて、神様を信じている人間になれるのですね！

いの祈り 天のお父様、ちゃんとおこないで「信じてること」をあらわせますように。

8月27日（土）



ヨナ1・14～16

そこで人々は大いに主を恐れ、犠牲を主にささげて、誓願を立てた。16節

神様はとってもふしぎなお方だね！ 思いもしないようなときやところで、救いのご計画をすすめられるんだから。

ヨナが、はじめから神様の言うことを聞いてニネベに出かけていたら、この船の人たちと出会うこともなかったよね。さらにこの外国の人たちが、嵐の中でまことの神様を知り、一生神様を信じて従っていくと誓ったことを、だれが想像できたでしょう。すごいね！

わたしたちに起こるすべてのできごとの中で、神様は今日も生きてはたらいておられるよ。

いの祈り 天のお父様、わたしがしっぱいをして、それをむだにせず、たくさんの人の救いのために用いてくださり感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨナ 3・1～4・12

神の憐れみを知る

ましてわたしは十二万あまりの、
右左をわきまえない人々を、…
惜しまないでいられようか。

ヨナ 4・11

目標

神の憐れみを覚え、福音を伝える
ものとなる。

8月28日（日）

聖書
聖句

ヨナ 4・11

ましてわたしは十二万あまりの、
右左をわきまえない人々を、…惜
しまないでいられようか。 11節

あなたは、いじわるで、らんぼうで、うそば
かりつくような人のことをどう思いますか？
そんな人は地獄に行っても当たりまえ？

でもね、神様はどんなにいじわるで、らんぼ
うで、うそつきで、人殺しだつてするような人
間であっても、そんなにかんたんに地獄に行つ
てもいいとは思っていないよ。だってこの世界
も人間も、全部神様のものだから！ どんな人
にも、罪を悔い改め、新しく神様の喜ぶ人生
を生きなおすチャンスを用意しているんだよ。

祈り

あなたの愛と憐れみで、どんな人でも、罪
を悔い改めて、あなたの喜ぶ人生を生
きなおせることを感謝します。

8月29日（月）

聖書
聖句

ヨナ 3・1～2

時に主の言葉は再びヨナに臨んで
言った。 1節

神様の言うことを聞かないでにげたヨナを、
神様は見すてたでしようか？ ほかの人のかわ
りに使うからもうヨナなんていらないと言
いましたか？ いいえ。ヨナを大きな魚のおなか
の中で守り、生きて地上にもどされただけでな
く、もういちど、あのニネベに行くようにと
言うてくださったのです！

あなたは、神様のためにはたらく力も資格
もないし、しっばいばかりでだめだと思ふかも
しれません。でも、そんなことは神様には問題
じゃないんだね。神様が選んだんだもの。ちゃ
んと神様に心を向けて従えるようにしてく
ださるんだね。神様の選びはすごい！！

祈り

天のお父様、わたしたちを選び、見すて
ないで用いてくださり感謝します。

8月30日（火）

聖書
聖句

ヨナ 3・3～4

そこでヨナは主の言葉に従い、
たつて、ニネベに行った。 3節

こんどのヨナはにげなかったよ！

きっとニネベの町に行くのは、一人じゃこわ
かったはず。でも、だれよりも何よりも強い
神様が、ヨナをニネベに行かせるのです。だか
ら大丈夫！ ぜったいに！

ニネベの町を歩いてまわるのはとても大変
なことでした。だって、すごく大きな町だから。

いろいろ言いたいこともあったかな。でも、
文句は言いません。ただ、神様の命じる言葉だ
けをそのまま伝えればいいのです。

わたしたちもそう。神様をそのまま信じ、
神様の言葉にそのまま従い、神様の言葉をそ
のまま伝えればいいのです！

祈り

天のお父様、あなたをそのまま信じ、従
い、お言葉をそのまま伝えまます。

8月31日（水）



ヨナ 3・5～9

そこでニネベの人々は神を信じ、
断食をふれ、大きい者から小さい
者まで荒布を着た。 5節

ヨナがニネベに神様の言葉を伝えたとき、な
んとニネベの人たちは、たった一回神様の言葉
を聞いただけで、みんなすぐに神様を信じ、今
までの罪と悪とを神様におわびしたのです！

あなたははどうでしょう？「神様信じてる！
み言葉？は～いわかった～OK！」なんて言いな
がら、じつはぜ～んぜん心に神様の言葉がと
どいていない、言うこと聞きたくない！一回
じゃ従わない！なんてこと、ありませんか？
神様の言葉を聞いたなら、本気で信じ、「す
ぐに」従う。これが、神様の望みです。

いの
祈り

天のお父様、なんどもなんども聞いたあ
と従うのではなく、一回で「すぐに」従
える心をください。

9月1日（木）



ヨナ 3・10

神は彼らのなすところ、その悪い道
を離れたのを見られ、彼らの上に下
そうと言われた災を思いかえして、
これをおやめになった。 10節

ニネベの人たちは、神様に滅ぼされなければ
ならないほど、深い罪と悪の中で生きていまし
た。赦されなくて当たりまえの人たちでしたが、
悔い改めたので、神様は、滅ぼすのをやめ、
ニネベを赦されたというのです。

わたしたちも、赦されなくて当たりまえの罪
人。でも、イエスを十字架につけられた神様
は、イエスを信じる信仰を見て、罪を赦し、
滅びない者にしてくださるのです。

いの
祈り

天のお父様、人のためにイエスを
十字架につけるほどの愛と憐れみが、わ
たしにも注がれていることをありがと
うございます。

9月2日（金）



ヨナ 4・1～5

あなたの怒るのは、よいことであろ
うか。 4節

神様がニネベを滅ぼすのをやめたとき、ヨナ
は怒りくるって「死んだ方がましだ！！」って
言ったみたい。どうして？

ヨナは、ニネベは滅ぼされた方がいいし、
神様がそんな簡単に赦すはずがないと思って
いたのかも。それに、せっかく神様の言われた
ように働いたのに、自分が伝えたこととちが
うことがおきて気にいらなかったのかも。

あなたは神様の心をかんちがいしていませ
んか？神様は自分と同じ思いのはずだと思っ
てない？自分がどう思うかより、神様がどう
思い、何をなされるかを大切にしてくださいね。

いの
祈り

天のお父様、あなたはわたしが考える
よりもっと大きなお方です。あなたの思
いや、なされることを大切にします。

9月3日（土）



ヨナ 4・6～9

とうごまのためにあなたの怒るの
はよくない。 9節

自分の大切にしているおもちゃやゲーム、本
がこわれたとき、きつとあなたはすねたり泣い
たりするよね？でも、あなたのまわりのお友
だちが神様を知らないで地獄に向かっている
ことを、悲しんだり泣いたりしていますか？

神様はヨナに、とうごまの木を使って同じこ
とを教えたかったんだね。ヨナは自分の役に立
つとうごまが枯れたとき、すねて「死にたい」っ
て怒ったけれど、ニネベの人たちは滅びてほし
いって思っていたでしょう？

本当に大切なのは、いつかなくなる命のな
いものじゃなく、神様に救われなきやいけない
たくさんの命です！

いの
祈り

天のお父様、命のない物にでなく、命
あるもののために悲しめますように。

ラリー・デー



聖書
テーマ
暗唱聖句

マタイ 8・23～27

風と海を治めるキリスト

このかたはどういう人なのだろう。
風も海も従わせるとは。

マタイ 8・27

目標

すべてを支配されるキリストの
権威を知り、信頼して生きる。

9月4日（日）

聖書
聖句

マタイ 8・27

このかたはどういう人なのだろう。
風も海も従わせるとは。 27節

あなたがイエス様と出会ってどれくらい
時間がたったでしょう？これからもっと成長
していくけれど、これからもずっとイエス様と
いっしょに歩みたいとねがっていますか？

お弟子さんたちもまだこのとき、イエス様に
従いはじめてまもなくです。でも、知れば知る
ほど、いっしょにすごせばすごすほどに、イエ
ス様へのおどろきとそんけいの思いがふかく
なっていました。やがて、イエス様が天へお
かえりになったあと、迫害の中でも命をかけ
て信仰をまもるほどになったのです。

イエス様をふかく知る人生を歩みたいね！

いの
祈り

天のお父様、これからの歩みの中で、
もっとイエス様を知り、ふかく信じるも
のにしてください。

9月5日（月）

聖書
聖句

マタイ 8・23

それから、イエスが舟に乗り込まれ
ると、弟子たちも従った。 23節

せっかく声をかけられても、多くの人がイエ
ス様よりもたいせつなものがあると思って、
従うことをやめてしまう。そんな世界の中で、
「わたしがあなたをえらんだよ」「あなたはわ
たしの弟子だよ」とイエス様に言ってもらえ
るってすごいことですネ！

「同じ舟にのる」とは運命をともにすること、
乗ったらおりないこと。イエス様について行こ
うと決めたあなた、イエス様が行くところどこ
でも、とことん行ってみてください。あなたも
イエス様のお弟子さんなのです。

いの
祈り

天のお父様、せっかくえらんでいただい
た人生です。どこまでもイエス様と同じ
舟ですすませてください。

9月6日（火）

聖書
聖句

マタイ 8・24

すると突然、海上に激しい暴風が
起って、舟は波にのまれそうになっ
た。 24節

人は、神様を信じれば、悪いことなんておき
るはずがないと思ひ、悪いことがおきると、神
様は見すてた、信じてそんしたと思うのです。

でも、神様に見すてられて悪いことがおきる
わけじゃないよ！

いちばん悲しいのは、悪いことがおきてもひ
とりぼっちで、だれも助けてくれないこと。そ
れじゃあ、ただいやな思いしかのこらないね。

神様は、どんなことがあってもあなたをすて
ないお方、どんなあらしの中でもあなたをまもり、
あなたにのりこえる力をあたえ、その中で強
くしてくださるお方だよ！

いの
祈り

天のお父様、なにがおきてもあなたがと
もにいて、強くしてください。

9月7日（水）



マタイ 8・25

主よ、お助けください、わたしたちは死にそうです。 25節

お弟子さんの中には漁師さん、つまり舟のプロがいました。人はなにかとくいなことやたくさん勉強したことがあるとき、「できるだけ」とひとりでがんばるものです。

でもね、イエス様の前では「自分でできるで！」というプライドはすてたほうがいいよね。

人のちしきやがんばりではどうしようもないことがおきること、神様の前に人はちっぽけであることを、いま目の前にある問題のなかで、神様は気づかせてくださるよね。

ギュっとなににぎりしめたプライドを手ばなして、すぐに「助けてください」と言えるわたしたちでいようね！

いの祈り

天のお父様、自分のプライドでなく、あなたの力で生きていけますように。

9月8日（木）



マタイ 8・26

なぜこわがるのか、信仰の薄い者たちよ。 42節

こわがりの人はいませんか？ おともだちにきられるのがこわい！ しっぱいするのがこわい！ 夜くらくなるのがこわい！ いろんなこわい！ があると思います。お弟子さんたちも波にのみこまれて死ぬのがこわかったって！

でもね、なんかわすれちゃいませんか？ そう、そこにはイエス様もいっしょにおられるのです。人はこわい思いをすると、たいせつなことがわからなくなります。

そんなとき、あなたも思いだしてください。そう、イエス様があなたといっしょにおられることを。イエス様がいっしょならこわがらなくてもだいじょうぶってことをね。

いの祈り

天のお父様、いつもイエス様がいっしょにいてくださることを感謝します。

9月9日（金）



マタイ 8・26

風と海とをおしかりになると、大なぎになった。 26節

イエス様が海と風をしかると、風も海のなみもピッター！！ シーン…と止まったんだって。

今までイエス様の力をなだと思ってたんだらう…という、びっくりなできごとだね。

天と地と命あるものすべてを造られた神様のひとり子イエス様だからこそ、人だけでなく、自然界のできごともおさめることができるんだね。イエス様すごいね！

このイエス様を信じているなら、今なやんでいることも小さく思えてきたね！ 力強いイエス様にたよって、安心と勇気をもらって生きていけるよね！

いの祈り

天のお父様、すべてをおさめるイエス様の力を信じて、これからも生きていきます。

9月10日（土）



マタイ 8・27

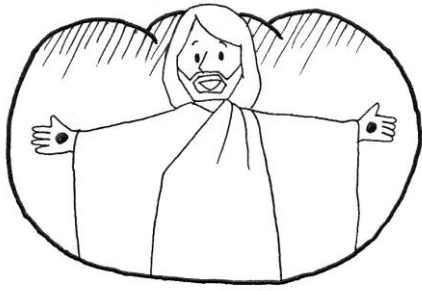
このかたはどういう人なのだろう。風も海も従わせるとは。 27節

この一週間、イエス様のこと、どんなふうにも思いましたか？ イエス様がどんなときもいっしょにいてくださること、今まであんまり信じてなかった自分のこと、イエス様はすべてのものに力があることなど、気づいたことや、心に決めたことがあればいいなと思います。

そして、この海と風をしずめたお方は、あなたに永遠の命と天国を用意するために来られた「あなたの救い主」であることが、はっきりとわかり、死んだらおわりじゃなく、天国をもくひょうにして、イエス様に従っていきましょう！

いの祈り

天のお父様、わたしに天国を用意してくださったイエス様に、どこまでも従って生きていけますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 6・26～35
命のパンなるキリスト
わたしが命のパンである。

ヨハネ 6・35

目標

永遠の命がキリストのもとにあることを知り、キリストを信じる。

9月11日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 6・35
わたしが命のパンである。 35節

おはよう！ 朝ごはんは食べましたか？ おなかぺこぺこのときのごはん！ 生きかえる～！ でも、ただおなかですくから、おいしいから、ごはんを食べるわけじゃないって知ってる？ お野菜やお魚やごはんから命をもらって、骨や筋肉や血を健康にして、自分の命にしていかなきゃいけないからなんだ。

でもね、イエス様はご自分のことを「命のパン」だって。わたしのために十字架につけてくれたイエス様の命を心の中にいただいて、永遠に生きるものになってほしい、というイエス様のお言葉だね。イエス様、ありがとう！

祈り

天のお父様、イエス様がなによりもたいせつな永遠のいのちになってくださったことを信じます。

9月12日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 6・26、36
あなたがたはわたしを見たのに信じようとしない。 36節

自分が大好きなものや人が目の前にあったら、そのことがうれしくて、まわりのことに目がいかなくなってしまうなんてこと、ありませんか？

イエス様のまわりの人もそうでした。「イエス様がしてくれたこと」にばかり心をうばわれて、「イエス様ご自身」に心の目を向けることができなかったのです。

カメラのピントがずれると、ぼんやりした写真しかとれないように、心のピントがずれると本物の信仰がなにか、わからなくなるよ。

祈り

天のお父様、心のピントをイエス様にあわせて、はっきりとした信仰を持つことができますように。

9月13日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 6・27
朽ちる食物のためではなく、永遠の命に至る朽ちない食物のために働くがよい。 27節

どんな人生が、しあわせな人生なんだろう？ 多くのお金、りっぱな家や車、すてきな家族や友人にめぐまれ、健康で長生きすることだと考えます。自分がまんぞくするためにどうやって生きよう？と思うのです。

でも、人を満足させているように見えるものは、一瞬の喜びでしかありません。ずっと続くと思えるしあわせにも、終わりがあります。

イエス様は、ほんの一瞬の喜びではなく、永遠に「ああほんとうによかった」と言えるものをあたえてくださるお方です。

祈り

天のお父様、いつか消えるものではなく、永遠に「ああよかった」と言えるもののために生きていけますように。

9月14日（水）



ヨハネ 6・28～29

神がつかわされた者^{もの}を信^{しん}じること
が、神^{かみ}のわざである。 29節

「神様^{かみさま}はいるよね」と、ふしぎで力^{ちから}ある存在^{そんざい}を感じている人^{ひと}ってけっこういるみたい。そして良い行い^{よ おこな}をし、死んだら天国^{てんごく}に行きたいとねがっているんだよね。

それなのに、神様の用意^{ようい}された救い^{すく}の方法^{ほうほう}をうけとりたいと本気^{ほんき}で考えないのは、とてもざんねなことだね。

神様がいますと信じるなら、神様がみんなに与えたいプレゼント（それはイエス様^{イエスさま}）をうけとってはじめて意味^{いみ}があるよね。

神様にとっては、人のどんなすばらしい行いよりも、イエス様を信^{しん}じうけいれることのほうがはるかに大きな喜^{よろこ}びなんだよ。

いの祈り

天のお父様^{てん とうさま}、イエス様のことをだれかに教えてあげられますように。

9月15日（木）



ヨハネ 6・30～31

わたしたちがあなたを見て信^{しん}じるために、どんなしるし^{しるし}を行^{おこな}って下さいますか。 30節

「イエス様^{イエスさま}を信^{しん}じたらラッキーなことがあった！ だからもっとラッキーなことください！」

でもよく考えたら「イエス様がホンモノの救い主^{きういしゅ}なら、もっとしょうこ見せてよ、わたしにもっともっとすごいこと見せてよ」って… けっきょく、人が求めたいのは、自分^{じぶん}にラッキーなことだけをくれる、つごうのいい神様^{かみさま}なんだね。そういう人^{ひと}は、かんたんに神様を信^{しん}じる心^{こころ}をすててしまうでしょう。

人の心^{こころ}の罪深^{つみふか}さや弱^{よわ}さを感じずにはいられないけど、だからこそ、イエス様のほんとうの救いが必要^{ひつよう}なんだね。

いの祈り

天のお父様^{てん とうさま}、罪深^{つみふか}いわたしたちには、イエス様の救い^{きうい}がほんとうに必要^{ひつよう}です。

9月16日（金）



ヨハネ 6・32～33

天からのまことのパンをあなたがたに与えるのは、わたしの父^{ちち}なのである。 32節

あなたは、こまったことがあったらどうしますか？ お友だちに話す？ お父さんやお母さんにたよるのもいいでしょう、学校の先生^{せんせい}かもしれない。でも、その前^{まえ}にわすれていることがありますか？ そう、神様のこと。

イエス様のところにやってきた人^{ひと}たちも、すべてのことは神様の手^ての中^{なか}にあること、自分のいのち^{いのち}を守り、生活^{せいかつ}をささえ、みたすことのできるお方は神様^{かみさま}だ、ということをしつかりわすれていたのです。

どうか、どんなときもまずは「神様！」と祈れるあなたでいてくださいね。

いの祈り

天のお父様^{てん とうさま}、あなたをわすれやすいわたしをゆるしてください。

9月17日（土）



ヨハネ 6・34～36

わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信^{しん}じる者は決してかわくことがない。 35節

体^{からだ}ってふしぎ。食^たべたり飲^のんだりしても、時間^{じかん}がたてばおなかがグ～っとなっちゃうね。

でも、命^{いのち}のパンイエス様はちがうんだ！

はっきりと「イエス様を信じます」と心^{こころ}にイエス様をおむかえたその日^ひからず～っと、「永遠^{えいえん}の命^{いのち}の約束^{やくそく}」は変わらないって！

こんなにくじけやすく、つまづきやすく、弱いわたしたちだけど、「あなたを愛^{あい}しているよ」「あなたをはなれないよ」「あなたはわたしのものだよ」と天国^{てんごく}までみちびいてくださるイエス様の大きな大きな愛^{あい}の言葉^{ことば}だね！

いの祈り

天のお父様^{てん とうさま}、イエス様の大きな愛^{あい}に守られていてことを感謝^{かんしや}します。わたしもイエス様を愛^{あい}して生^{まも}きます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 9・1～11

世の光なるキリスト

わたしは、この世にいる間は、
世の光である。 ヨハネ 9・5

目標

世の光キリストによる救いを
頂き、キリストに従って生きる。

9月18日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 9・5

わたしは、この世にいる間は、世の
光である。 5節

だれも解決できない「死」と「罪」の問題で、
まっくらやみのあるいていたわたしたちにと
って、イエス様はまさに「世の光」！

つまり「もうだめだ」と泣き、あきらめるだ
けの人生から、イエス様によって生まれかわ
って「新しい人生の希望」をみつけた人にと
って、イエス様は太陽のようだってこと！

でもね、イエス様の光を全身に受けたわた
したちもまた、月が太陽の光を反射してピカ
～！と輝くように、輝くことができるんだ。

あなたが生きる間、あなたもまた「光」の
存在となって、多くの人を輝かせたいね。

祈り

天のお父様、イエス様からうけた光を、
まわりにも輝かせる者としてください。

9月19日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 9・1～2

この人が生れつき盲人なのは、だれ
が罪を犯したためですか。 2節

わたしがこうなったのは、あのせい？ それ
ともこのせい？ と、起こったことの理由をさ
がすのは、むかしも今もおなじだね。

「因果応報」といって、ものごとが起きるの
にはなにか原因があるから、という意味だけど、
ときには、どうやっても原因が見つからないこ
ともあるのに、無理やり見つける人も…。

イエス様の時代には、人が生れつき病気の
は、その人の魂がもともと悪かったからだ
とか、だれか家族が悪いことをしたから呪いを受
けたのだと考えていました。さんねんだな…

こたえは神様に聞くべきだよ！

祈り

天のお父様、なにかやだれかのせいにす
る者から、あなたにこたえを聞く者にし
てください。

9月20日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 9・3

ただ神のみわざが、彼の上に現れ
るためである。 3節

みんなが口をそろえて、つめたい言葉を病氣
の人になげつけるときも、イエス様の言葉は
まったくちがう「愛」のことばです。

イエス様は「ただ神のみわざが現れるため」
と言ったね。それは、その人が呪いを受けてい
るのではなく、神様がどんなに愛してくださる
かを知り、イエス様の命で生れかわって、神様
をほめたたえる人になるため、ということ。

こたえのない苦しみをしている人はいます
か？ イエス様はあなたにも、神様のすばらしさ
をもっと知ってほしいとねがっておられます。

祈り

天のお父様、つらいことがあったとき、
それを祝福に変えてくださるあなたに
もっと近づくことができますように。

9月21日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 9・4

わたしたちは、わたしをつかわされたかたのわざを、^{ひる}屋の間にしなければならぬ。
4節

パッと心^{こころ}の目^めが開かれて、神様^{かみさま}に「わたしは罪人^{つみひと}です、赦^{ゆる}してください」と言えた人は、真^ま暗闇^{くらやみ}から昼^{ひる}の世界^{せかい}に出てきた人です。でも、いつまでも「わたしこそが正しい!」「わたしの人生^{じんせい}は明るい」と思^{おも}ってる人もいるよね。そのような人は心^{こころ}の目^めが開かず、自分^{自分}が暗闇^{くらやみ}にいることがわからずにいるのです。

やがて、人生^{じんせい}が終わり、神様^{かみさま}の前に立つ日^ひがすべての人^{ひと}にきます。そうなる前^{まえ}に、さきに昼^{ひる}の世界^{せかい}に出たあなたも、人^{ひと}のためにどんなことができるだろうと、考^{かんが}えてみてください。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、たくさんの人^{ひと}と昼^{ひる}の世界^{せかい}に生きるために、わたしも自分^{自分}にできることを考^{かんが}えていきます。

9月22日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 9・6~7

そこで彼^{かれ}は行^いって洗^{あら}った。そして見^みえるようになって、帰^{かえ}って行^いった。
7節

目^めが見えなかった人^{ひと}が見えるようになったのはどうして? イエス様^{イエスさま}がどろを目^めにぬってくれたから? シロアムの池^{いけ}で洗^{あら}ったから?

人^{ひと}は「だれか」がなにかをしたから、と考^{かんが}えます。でも「自分^{自分}が」イエス様^{イエスさま}の言^いわれたとおりにしていなかったら、どうなっていたかな?

そう、いちばんたいせつなのは「みことばを聞^きいたら、それに従^{したが}う」ということなのです。

イエス様^{イエスさま}はあなたを、聞^きいたとおりに行^いう人^{ひと}として、遣^{つか}わしたい! とねがっているよ。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、イエス様^{イエスさま}のねがっておられる「聞^きいて行^いう」人^{ひと}になって遣^{つか}わされるものに、成^{せい}長^{ちやう}させてください。

9月23日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 9・8~9

わたしがそれだ。
9節

ぜったいだめだ、とだれもが思^{おも}うようなことがいっしゅんで解^{かい}決^{けつ}したとき、「きせきだね」という人^{ひと}と「ラッキーだね」という人^{ひと}にわかれるでしょう。とくに大きな病^{びやう}気^きがなおって、まるで別人^{べつじん}のようになったらどうでしょうね。

神様^{かみさま}を信^{しん}じる前^{ぜん}後^ごのわたしたちもおなじです。なんの希^き望^{ぼう}や目^{もく}的^{てき}もなく、罪^{つみ}をかかえて生^いきていたのに、イエス様^{イエスさま}にであってすべてが変^{かわ}りました! よろこびの人生^{じんせい}がはじまったのです。

もしあなたが「ほんとうにあなたなの?」と聞^きかれるほどに変わ^{かわ}ったなら、「わたしこそ、神様^{かみさま}のきせきのわざを体^{たい}験^{けん}したその人^{ひと}です。(わたしがそれです)」とこたえたいね。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、まわりの人^{ひと}もおどろくほど、あなた^{あなた}のわざを体^{たい}験^{けん}させてください。

9月24日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 9・10~11

イエスというかたが、どろをつくって、わたし^{わたし}の目^めに塗^ぬり、「シロアムに行^いって洗^{あら}え」と言^いわれました。11節

「今日^{きょう}こそだれかに神様^{かみさま}のこと伝^{つた}えなきゃ」と思^{おも}っても、すごくむずかしく考^{かんが}えちゃって、なかなか言^いい出^だせない人^{ひと}もいるかな?

でも、神様^{かみさま}はふしぎ、だれかに話^{はな}すチャンスをくださるお方^{かた}です。そのときは、こわがったり、話^{はなし}を小^{ちい}さくしたり大^{おお}きくしたりせず、ただ神様^{かみさま}があなたになにをしてくれたか、神様^{かみさま}にであってどんなふうに変^{かわ}わったのか、起^おきたことを「ありのまま」を伝^{つた}えればいいのです。

その「ありのまま」の信^{しん}仰^{やう}を、神様^{かみさま}は祝^{しゆく}福^{ふく}してくださいますよ。

いの
祈り

天^{てん}のお父様^{とうさま}、むずかしく考^{かんが}えるのではなく「ありのまま」を伝^{つた}えることができまうように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 10・1～15

羊飼いきリスト

わたしはよい羊飼である。よい
羊飼は、羊のために命を捨てる。
ヨハネ 10・11

目標

私たちのために命を捨ててく
ださった羊飼いきリストを信じ
る。

9月25日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 10・1～15

わたしはよい羊飼である。よい
羊飼は、羊のために命を捨てる。
11節

本物の羊を見たことありますか？ 羊は目も
弱いし、すべてに弱い動物です。羊飼いがいな
ければ、すぐにも迷い込んで死ぬか、恐ろしい
動物におそわれて死んでしまいます。わたした
ち人間も羊のように弱いですね。わたしたちの
ための羊飼いはイエス様です。よい羊飼いは、
羊を守るためには命さえも投げ出すのです。
イエス様は、わたしたちが罪を犯し続けて永遠
に滅びてしまわないために、身代わりに十字架
で死ぬほど愛してくださる羊飼いです。

祈り 天のお父様、罪深く、迷いやすい羊のよ
うなわたしのために命さえ捨ててくだ
さった羊飼いきリストを感謝します。

9月26日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 10・1～3

そして彼は自分の羊の名をよんで
連れ出す。 3節

今週は、イエス様がどんなに良い羊飼いな
のか、み言葉から見ていきましょう。囲いから外に
出られるのは、羊たちにとってうれしいこと
だったでしょう。羊飼いは自分の羊の名をよん
で連れ出したのですね。「メー太！メー吉！
メー夫！メー助！メー子！」（わあどれもメー
だ）一体どんな名前がつけられていたのでしょ
う？わたしたちも自分の名前が呼ばれること
って、何だかとてもうれしいことですね。イエス様
はきょうも名を呼んでいてくださいます。

祈り 天のお父様、ひとりひとりの名を知って、
きょうも呼んでくださって、一日の歩みに
連れ出してくださり感謝です。

9月27日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 10・4～6

自分の羊をみな出してしまうと、
彼は羊の先頭に立って行く。 4節

「さあ、広い野原にいてらっしゃー
い！」って、羊を出してしまっ、羊飼いの
おじさんは家でゆっくりするわけではありません。
サーッと羊たちの先頭に行き、「ついて
来るんだよ」と導いてくださるのです。羊た
ちは、目が弱いし、迷いやすいのですから。わ
たしたちのためにもイエス様は同じようにし
てくださいます。わたしたちにはこの一日、
一体どんなことがあるのかわかりません。でも
イエス様が、ちゃんと前に行ってくくださるので
大丈夫！

祈り 天のお父様、一日の始まりに、きょうも
イエス様がわたしの先頭に立って行っ
てくださると知るのは心強いです。

9月28日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 10・7～9

わたしは門である。わたしをとおつてはいる者は救われ、また出入りし、牧草にありつくであろう。 9節

ここでは、イエス様が「わたしは門である」と言われます。その門は、救いの門ですね。わたしたちを、滅びて行くこの世から救い出し、犯しつづけてきた罪から救い出すことのできるのは、イエス様だけです。イエス様という救いの門をくぐって入ると、全く罪の力から救われ、守られていくのです。イエス様という門をくぐって、出たり入ったりして、わたしたちの成長のために必要なものが豊かに与えられます。牧草、つまりみ言葉を第一に与え、そしてすべてを与えられます。

いの
祈り

天のお父様、救いの門であるイエス様を感謝します。罪を悔い改めて、救いの門に入って豊かな人生にしてください。

9月29日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 10・10～11

わたしがきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである 10節

コロコロころがれるほど、マルマル太った羊を想像してしまいますか？ テーブルの上にパンプキンスープにサラダに生ハム、ポテトにステーキに焼きたてパン、デザートはアイスクリームつきアップルパイ、なんてリッチー！と思いますね。豊かな命はこれらのものを食べて育てられるだけではありません。何より、清い心と、何にも乱されない心の平安と、まわりの人への優しい思いやりが満ちた命でしょうね。イエス様だけが与えてくださる命です。

いの
祈り

天のお父様、イエス様を信じる時与えられる清い命、豊かな命を心よりありがとうございます。大切にします。

9月30日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 10・12～15

わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、わたしの羊はまた、わたしを知っている。 14節

「わたしのこと、もっとよく知ってほしいな」、「ぼくのこともっとよくわかってよ」という気持ちになることがあるでしょう？ お家の人やお友だちだって、いつも一緒にいるのに、なかなかわかってもらえないなあって。でも、よい羊飼イエス様は、わたしたち羊のことをとってもよく知って、わかっていてくださるのです。詩篇139篇を読むとオドロキますよ！ わー、何もかも知られてるんだ一って。では、あなたは羊飼イエス様をよく知っていますか？

いの
祈り

天のお父様、わたしのことを一番よく知っていてくださるイエス様をくださって、本当に感謝でいっぱいです。

10月1日（土）

聖書
聖句

詩篇23・1～6

主はわたしの牧者であって、わたしには乏しいことがない。 1節

羊を飼っていた少年ダビデが、大きくなってつくった羊飼いの詩です。ダビデは、自分はちょうど羊のような、神様は、ぼくの羊飼いだと、感謝にあふれてつくりました。豊かに養い、育ててくださる羊飼、たとい恐ろしい死の陰の谷のような中を行く時も、羊飼いな神様が共にいてくださるのでこわくありません。毎日が勝利です。神様の恵みと愛とがずっとわたしを追いかけます。わたしは一生、この羊飼いな神様と共に過ごしますと！

いの
祈り

天のお父様、この豊かな羊飼いの詩を、暗唱できたら本当に素晴らしいです。実行してみたいと思います。